

# 大野南保育所

所在地 下大利1丁目18-28

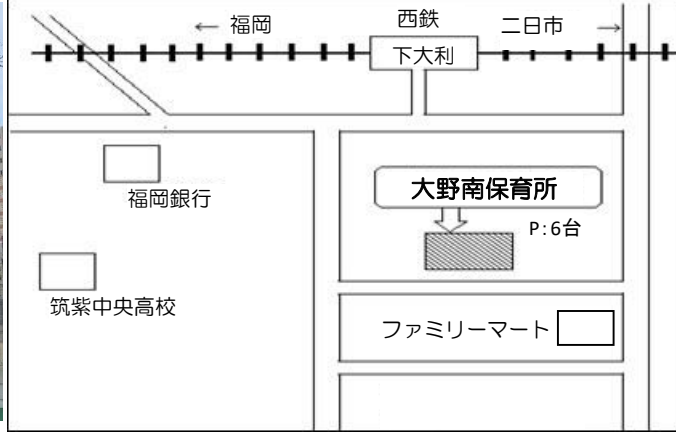
電話 092-571-3233

ホームページ なし

FAX 092-571-3233

設置・運営 大野城市

メール onominami@city.onojo.fukuoka.jp



職員体制	園長	保育士	看護師	調理員	その他
(令和7年9月1日時点)	千代田 久美	24名	1名	4名	1名

令和8年度予定人数	0歳	1~2歳	3歳以上	計
	10名	40名	70名	120名

開園時間	月~土曜	標準時間	7:00~18:00	休園日	日曜日、国民の祝日 年末年始 (12月29日~1月3日)
		短時間	8:30~16:30		
	延長	標準時間	18:00~19:00 (平日のみ)		
		短時間	7:00~8:30 16:30~18:00		

## クラス

つぼみ (0歳児)      もも (1歳児)  
 きく (2歳児)      ゆり (3歳児)  
 すみれ (4歳児)      さくら (5歳児)  
 ※3・4・5歳児の縦割り保育も行っています

## 障がい児保育

あり ※P9をご確認ください

## 一時保育

なし

## 課内保育

なし

## 見学

毎月1~2回: 10時~・11時~  
 要予約 (事前に電話してください)  
 電話受付: 平日9:00~17:00



## 保育料以外の諸経費 (令和7年9月1日時点)

### 【3歳以上のみ】

☆体操服上下A 3,450円  
 ☆体操服上下B 3,850円  
 ☆スモック 1,500円  
 ☆主食 持参

### 【全年齢共通】

★駐車場代 なし  
 ★道具類 4,000~10,000円  
 (クラス単位に金額設定)  
 ★保護者会費 毎月500円  
 ★月刊絵本代 毎月約420円  
 (令和8年度予定)

### 【その他】

●カラー帽子 (1歳以上) 900円

※金額については、変更となる場合があります。  
 ※詳細は園へお尋ねください。

## 保育の方針

健全な環境の中で、情緒の安定した生活ができるように配慮し、集団の中で、自己を十分に発揮するとともに、感性豊かな子どもに育つよう保育をする。

## 保育の目標

- 基本的な生活習慣や健康の基礎を身につける
- 協力しあい、思いやりの心を育てる
- 自然、社会の事象に、興味や関心をもつ豊かな心情を育てる
- 自分の考えを表現できる態度を養う

### 保育所の一日

0・1・2歳児	時間	3・4・5歳児
開園・自由遊び	7:00	開園・自由遊び 外遊び
出席・健康確認 朝のおやつ	9:30	出席・健康確認 お茶のみ 体操
活動 年齢に応じた保育	10:00	設定保育 制作・絵画・運動・散歩 縦割りの活動など
給食	11:30	給食
午睡	12:30・13:30	午睡
おやつ	15:00	おやつ
自由遊び		自由遊び・外遊び
順次降園		順次降園
延長保育	18:00	延長保育
閉園	19:00	閉園

食育・運動・環境(エコ)・健康について、年齢に応じて取り組みを行っています。



◎散歩にいたり、土作りをして野菜を育てたり自然に親しむ活動をしています。

玉ねぎの収穫  
収穫したたまねぎは  
焼いたたまねぎパ  
ーティ  
ーでいただきました。



◎夏祭りごっこでは、  
廃材を使ってかきごおり  
やたこやきをつくりました。  
5歳児を中心に全園児  
たのしんでいます。

### 年間行事

4月	入園式(新入児) 内科健診	10月	歯科検診 内科健診
5月	歯科検診 ※親子遠足 たまねぎパーティー	11月	おもちゃパーティー 観劇会 尿検査
6月	尿検査 個人懇談	12月	生活発表会 お楽しみクッキング クラス懇談会 クリスマス会
7月	七夕写真撮影 夏祭りごっこ クラス懇談会	1月	※保育参観 給食試食会 クラス懇談会
8月	夏のあそび	2月	豆まき 修了・卒園写真撮影 年長児お別れ遠足
9月	防災訓練 ふれあいひろば (0~2歳児親子) あそびむし フェスティバル (3~5歳児親子)	3月	ひなまつり お別れ会 卒園式(年長児)

毎月、誕生会、身体測定、消火避難訓練があります。弁当日があります。(4月~6月・8月・10月~3月)  
下線付きは保護者参加の行事です。  
※は3.4.5歳児のクラスの参加です。

### 非常災害対策・緊急時等の対応方法

- 非常災害対策
  - 火災・消火避難訓練：年間12回実施
  - 不審者対策訓練
  - 地震対策訓練 年間計画により実施
  - 風水害対策訓練
- 緊急時における対応方法
  - 警察、消防署、警備会社、子育て支援課への通報訓練実施
  - ※園舎は鉄筋コンクリート造のため、基本的に保育所内で避難(災害状況により、複数の避難場所を想定)
  - ※保護者との連絡は ICTシステム(アプリ)対応

